

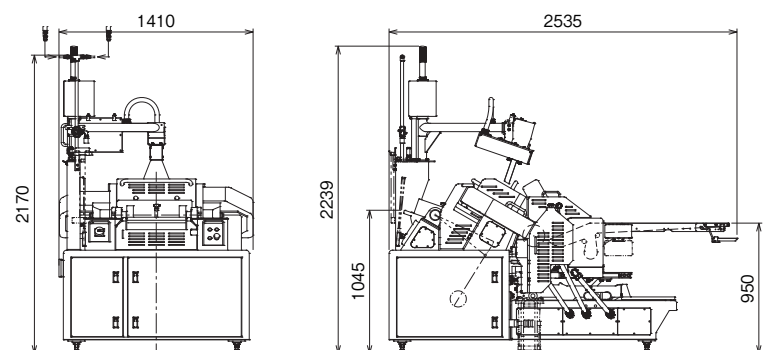
定量スライスユニット

機種名	ベンディングスライサー		ミートスライサー		ミートスライサー	
型 式	AZ-342	定量スライスユニット SL-AZ2-0	AXY-302	定量スライスユニット SL-AY2-0	AXY-302(H仕様)	定量スライスユニット SL-AY2-H
肉計測レーザー	レーザークラス クラス3R ※FDA(CDHR)のLaser Notice No.56に従い、IEC60825-1の基準にてクラス分けを実施しています。					
最大出力	120mW					
波長	660nm					
スライス方式	肉載部上下往復揺動					
切断刃の種類	バンドナイフ(ストレート刃)					
切断可能材料寸法(mm)	W160×H100×L600×2本		仕切り有:W140×H20~75×L600×2本 仕切り無:W300×H20~75×L600		仕切り有:W140×H20~100×L600×2本 仕切り無:W300×H20~100×L600	
スライス厚み(mm)	1~20					
スライス可能品温(°C)	-1°C~+5°C(適温+2~+3°C) ※1					
スライス回数	ベンディング時40~60回/分 ベンディングなし30~70回/分		薄切り(3mm以下):40~100回/分		薄切り(3mm以下):40~85回/分 厚切り(3mm以上):40~70回/分	
原料供給	連続可					
刃の研磨	間欠自動研磨装置付き					
刃の洗浄	水・エア混合噴き付け式(スクレーパ付)					
動力	AC200V 3.28kW		AC200V 2.16W			
電源容量	三相200V 20A		三相 200V 20A			
エア圧・量	0.5MPa以上1.0MPa以下 250L/分以上		0.5MPa以上1.0MPa以下 300 L/分以上			
水	一般水道圧程度(0.2MPa以上)					
機械の大きさ(mm)	W1,410×L2,535×H2,239		W1,410×L2,908×H2,003			
機械の重量(kg)	1,170		1,070			
オプション	-		オプション:サイドテーブル、2段テーブル			

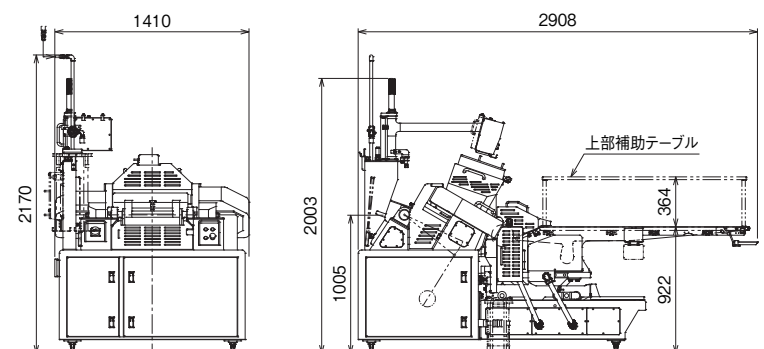
※1 温度は目安です。材料肉の硬さ、形状、肉質、厚み等により異なります。

[寸法図]

AZ342
+
定量スライスユニット
SL-AZ2-0



AXY-302
(AXY-302 H仕様)
+
定量スライスユニット
SL-AY2-0
(SL-AY2-H)



注) サイドテーブル、上部補助テーブルはオプションです。

「完璧」に挑戦する
Challenging "Perfection"
株式会社日本キャリア工業
NIPPON CAREER INDUSTRY CO., LTD.

本社 〒791-8043 愛媛県松山市東垣生町980番地5
TEL:(089)973-6311(代) FAX:(089)973-6353
980-5 Higashihabu-cho, Matsuyama-city, Ehime, 791-8043, Japan
Phone:089-973-6311 FAX:089-973-6353

取扱店 Agent:

E-mail: eigyou@nippon-career.co.jp <https://www.nippon-career.co.jp> 製品改良のため連絡なしに変更する場合があります。ご了承ください。

Ver.2023.11



NIPPON CAREER
WEIGHT CONTROL UNIT
CATALOG



定量スライスユニット

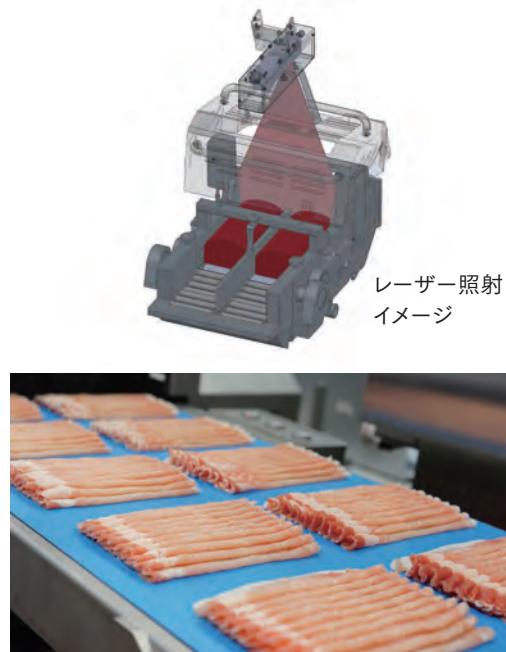
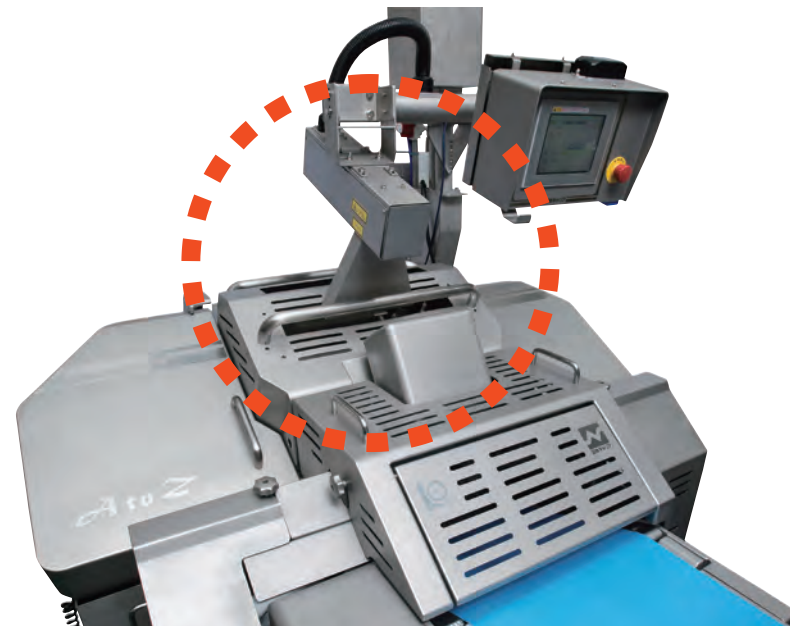
WEIGHT CONTROL UNIT

SL-AZ2-0 / SL-AY2-0 / SL-AY2-H

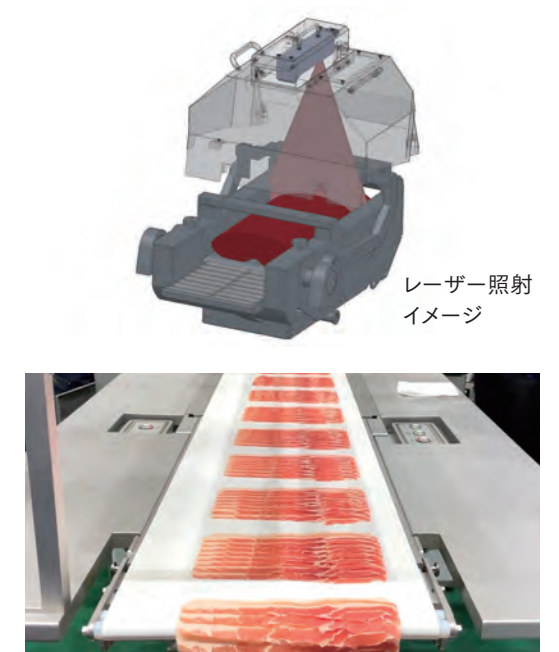
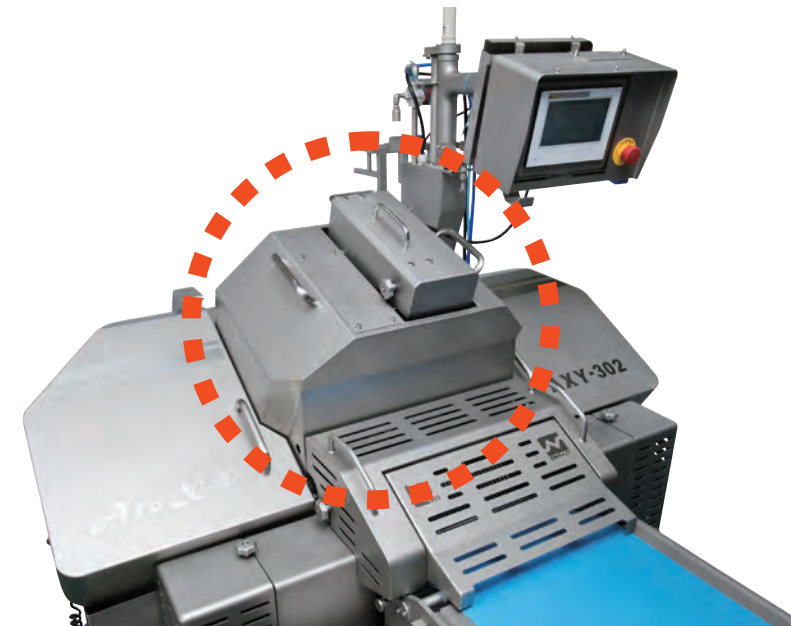
WEIGHT CONTROL UNIT

精度と生産効率を両立。スライサーに新たな価値をプラス (定量スライス)

SL-AZ2-0 (スライサー:AZ-342)



SL-AY2-0,SL-AY2-H (スライサー:AXY-302,AXY-302(H仕様))



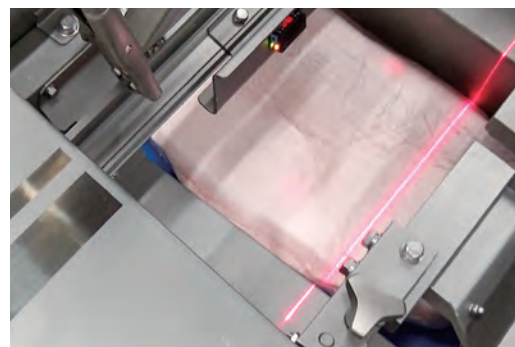
製品パックの91%が指定グラム数±10%以内の精度に

※当社実測値に基づく数値です。各種条件により数値は変動します。

定量スライスユニットの概要

- 揺動カバー上部のセンサーで投入原料の形状を計測します
- センサーからの情報をもとに、スライス厚みと枚数を自動調整しながらスライスします
トレー内のスライス厚みが変わらないよう、1パック分のブロックごとにスライス厚み・枚数が自動調整されます
スライサーの搭載機能によりスライス枚数が変わっても、ピッチが自動調整されトレー内に綺麗に収まります
- AZ-342の場合、2列のコンベアそれぞれが独立して制御され、定量スライスの精度と生産性を損ないません
- 既存のAZ-342、AXY-302、AXY-302(H仕様)へ後付けが可能です
- センサー部の防水・防塵性能はIP67準拠
- 特許出願中

本製品は可視光レーザーを使用しています。以下の注意事項を厳守してください。
注意事項が守られない場合、目や皮膚に障害を引き起こす可能性があります。
・レーザー光を人に向けしないでください。
・レーザー光および鏡面反射光を直接見たり、皮膚に照射したりしないでください。



定量スライスユニットの特徴

高い精度

- 生産される商品パックの91%が、指定グラム数±10%範囲内に収まります ※当社実測値に基づく

省スペース

- センサー部がスライサーの機械内部に収まるため、新たな設置スペースは必要ありません

変わらないオペレーション

- 重量設定は従来のスライサー同様、メニュー登録が可能。ワンタッチで原料の比重の違いに対応する微調整も簡単に行えます
- 原料を肉箱内部で計測しながらスライスするため、別途原料計測をする手間がいらず、原料の連続投入も従来のスライサーと同様に可能となり、生産効率が落ちません

生産性の向上

- 作業者の習熟度によって生産性が左右されていた“パック重量の調整作業”の負担が大幅に軽減されます

ロボットパッカーとの相性もバツグン

- ロボットパッカーと合わせて導入すれば、スライス→重量調整→トレー盛付けまでの一連の作業が自動化できます

